

# 北九州空港(空港ビル含む)の現状と今後の課題



 **北九州空港**  
KITAKYUSHU AIRPORT

2019年8月21日

北九州エアターミナル株式会社

代表取締役社長 西田幸生 <sup>1</sup>

# 北九州空港の現状と課題

# 北九州空港のあゆみ(旅客数)

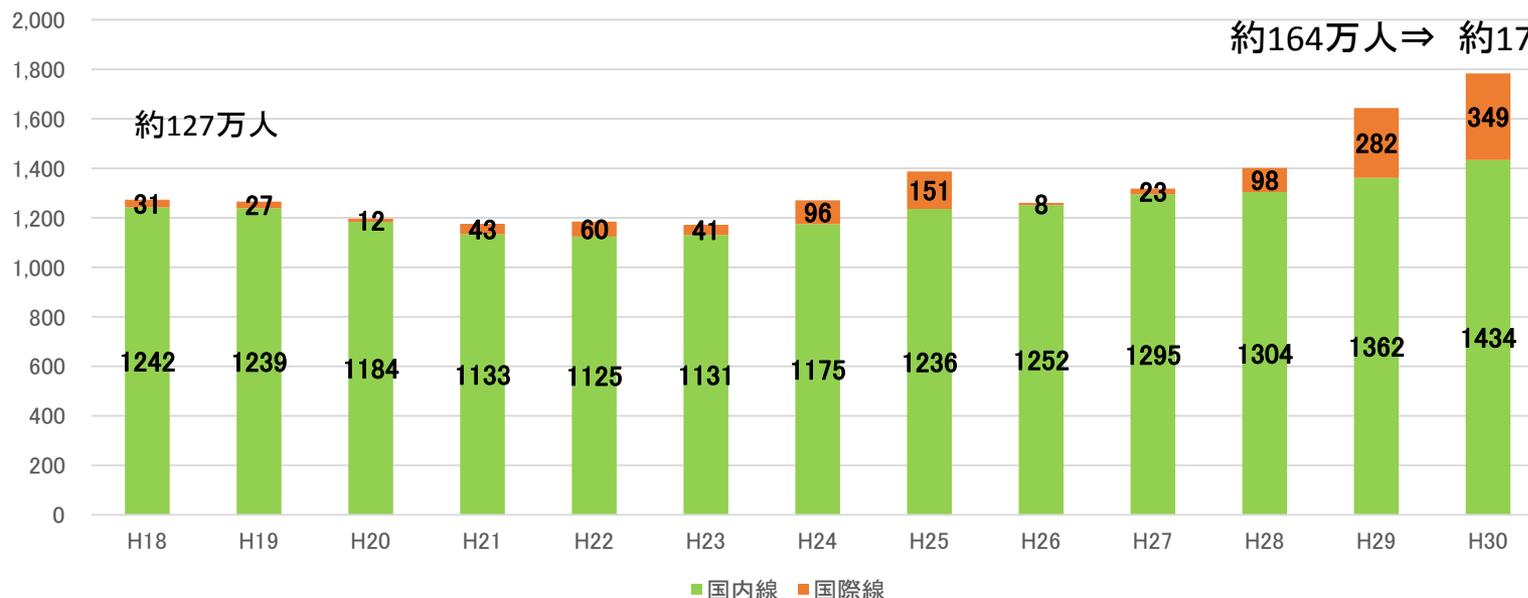
## ■利用者数(国内・国際合計)

※当社調べ

## 空港利用者数(国内・国際)

(単位：千人、年度)

約164万人⇒ 約178万人(8.5%増)



### 国内線定期便

スターフライヤー(東京)  
H18.3.16~  
日本航空(東京)  
H18.3.16~  
ジェイエア(小牧)  
H18.3.16~H19.3.31  
JTA(沖縄)  
H18.3.16~H22.5.5

スカイマーク(東京)  
H22.8.10~H24.9.30

スカイマーク(沖縄)  
H22.8.10~H22.10.30  
スカイマーク(沖縄)  
H24.7.20~H24.8.30

FDA(小牧)  
H27.3.29~H31.3.30

スターフライヤー(沖縄)  
H29.7.4~10.10、H30.2.8~5.7、H30.7.13~10.27、  
H30.11.16~  
FDA(静岡)  
H31.3.31~

天津航空(大連) H28.10.30~H31.3.29  
ジンエアー(釜山) H28.12.1~  
ジンエアー(仁川) H28.12.13~

### 国際線定期便

中国南方航空(上海)  
H18.3.26~H20.5.7

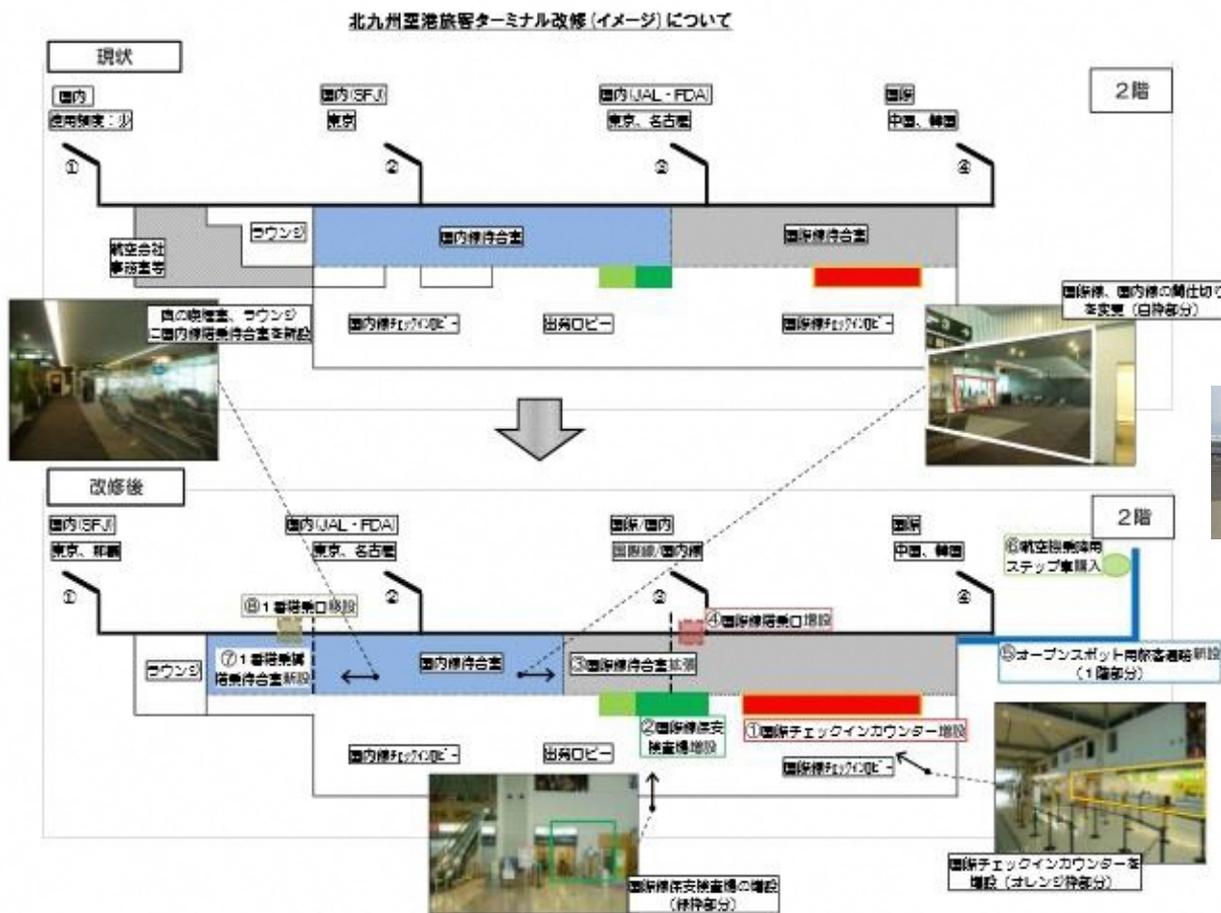
济州航空(仁川)  
H21.3.20~H24.4.22

スターフライヤー(釜山)  
H24.7.12~H26.3.29

コリアエクスプレスエア(ヤンヤン) H30.5.27~  
コリアエクスプレスエア(ムアン) H30.5.27~  
スターフライヤー(台北) H30.10.28~  
ティーウェイ(ムアン) H30.11.2~  
エアプサン(大邱) R1.6.5~  
中国東方航空(大連) R1.8.17~

国内、国際(国際線現状の2倍:約60万)の合計旅客概ね200万人に対応

国際線について、同一時間帯に2便対応可能となるよう、旅客ターミナルビルを改修し、受入能力を拡大



- 主な改修箇所
- ・国際線チェックインカウンターの増設
  - ・国際線保安検査場の増設
  - ・国内・国際線搭乗待合室の拡張
  - ・国際線搭乗口の増設
  - ・オープンスポット用旅客通路の新設
  - ・航空機乗降用ステップ車の購入
- 事業費:約8.4億円

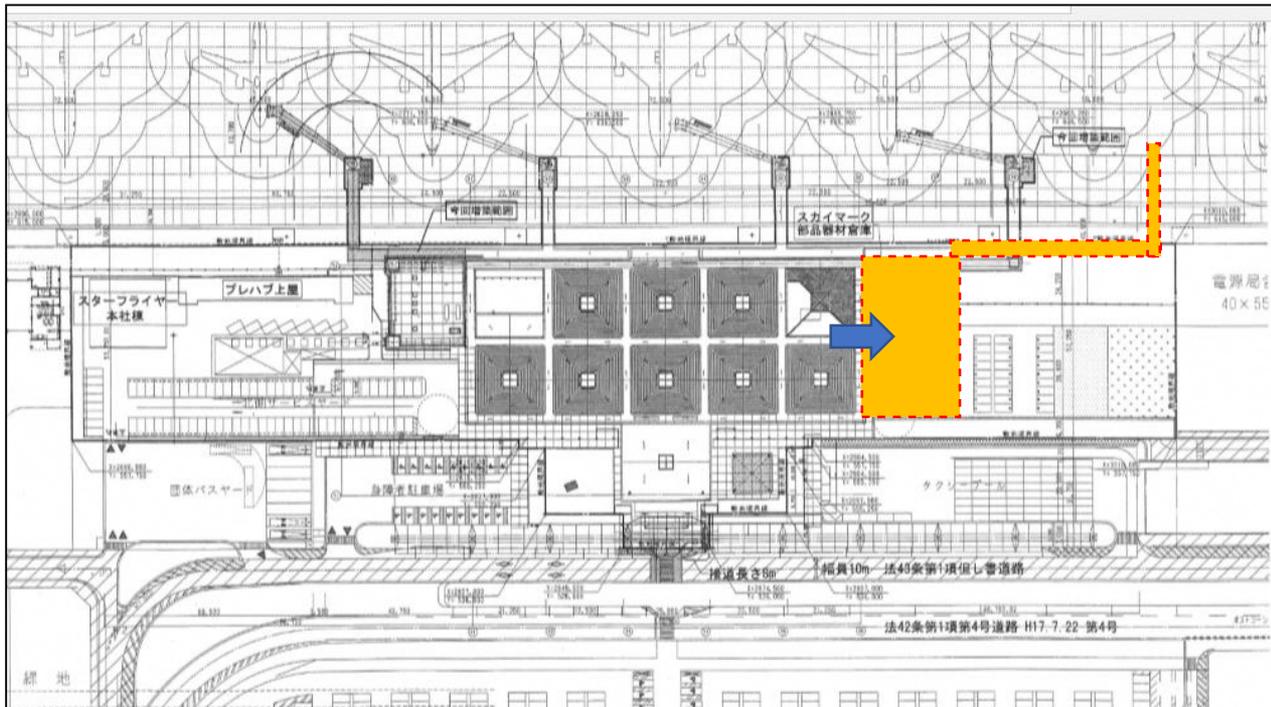


オープンスポットを活用するための、乗降用ステップ車と旅客用通路整備

現時点においても、国際線のスムーズな旅客動線、飲食(免税)売店の充実強化が課題である。

今後の国際線の旅客がさらに拡大すれば、将来的な収益の見込みを踏まえた上で、国際線の別棟建設もしくは増築(数十億円)を検討する必要がある。

## 課題 ●国際線需要の見込み、整備の手法等

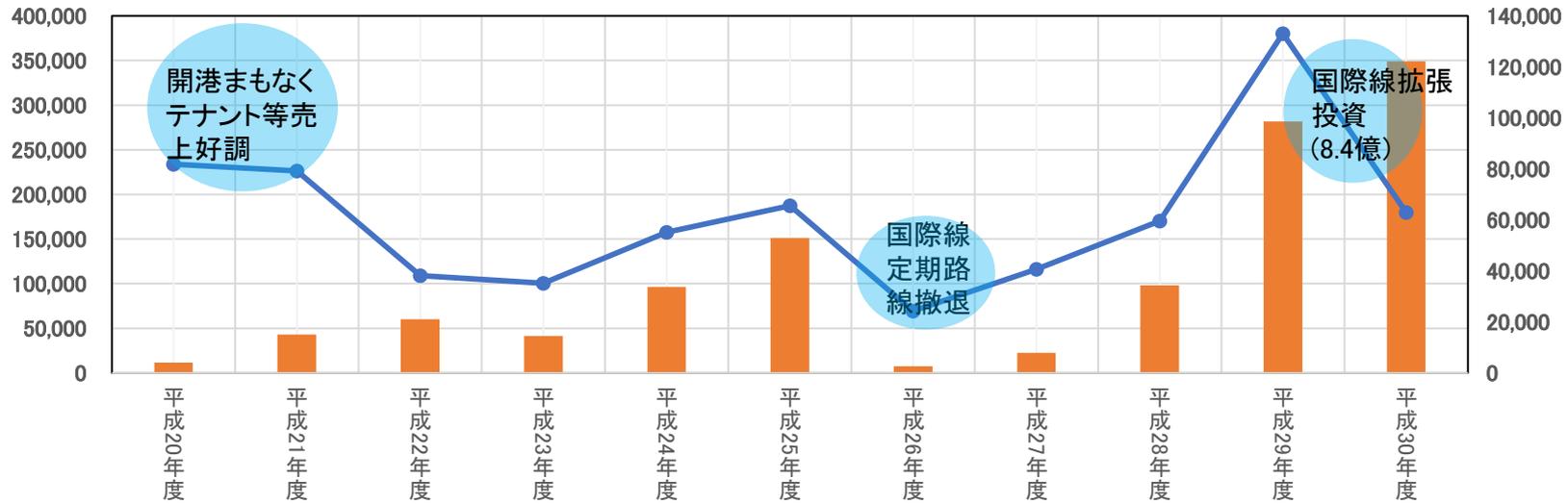


# 国際線の誘致とビル会社の収益

※ビル経営にとっても国際線路線の搭乗率の向上、安定(80%)と行政政策との連動が必要

国際線旅客数(千人)

ビル利益(千円)



年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
台北											
襄陽											
務安											
仁川									仁川	仁川	仁川
釜山					釜山	釜山			釜山	釜山	釜山
大連									大連	大連	大連
ウラジオストック	仁川	仁川	仁川	仁川	仁川	釜山					
上海											
チャーター便	チャーター便	チャーター便	チャーター便	チャーター便	チャーター便	チャーター便	チャーター便	チャーター便	チャーター便	チャーター便	チャーター便
平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	

北九州空港将来ビジョン推進強化期間(~平成30年度)

ネットワーク充実強化期間(令和元年度~3年度)

# 北九州空港ならではの取組み

受け渡し



返却



無人店舗によるWiFi貸出箇所設置(2019.5～)



誰でも弾ける空港ピアノ(2018.12～)



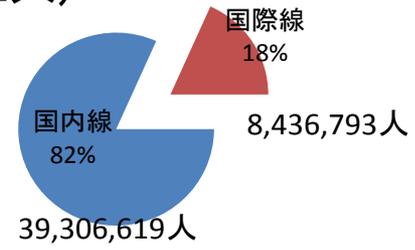
地方空港で少ない外貨自動両替機設置(2019.4～)



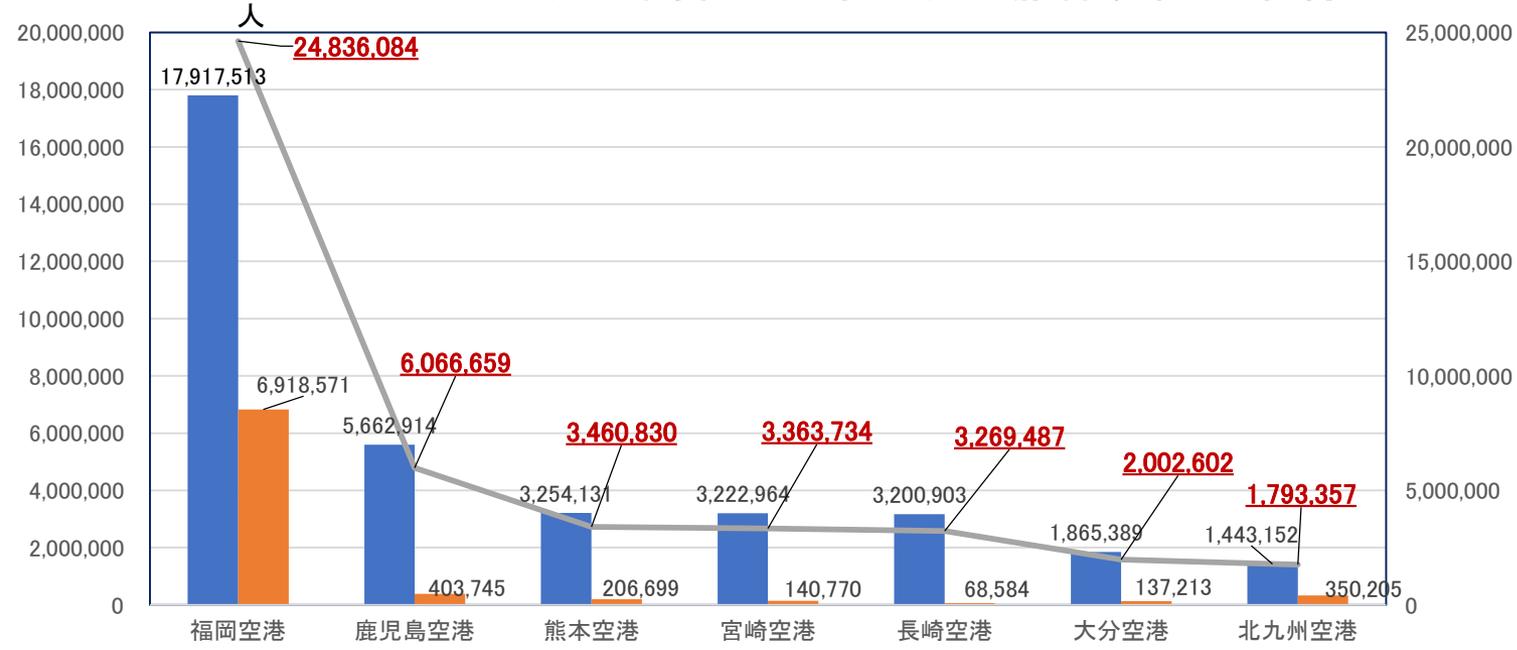
開港当時から話題の足湯

# 九州内空港旅客数の状況

平成30年度九州空港旅客計 ※佐賀空港及び離島空港含む  
(47,743,412人)

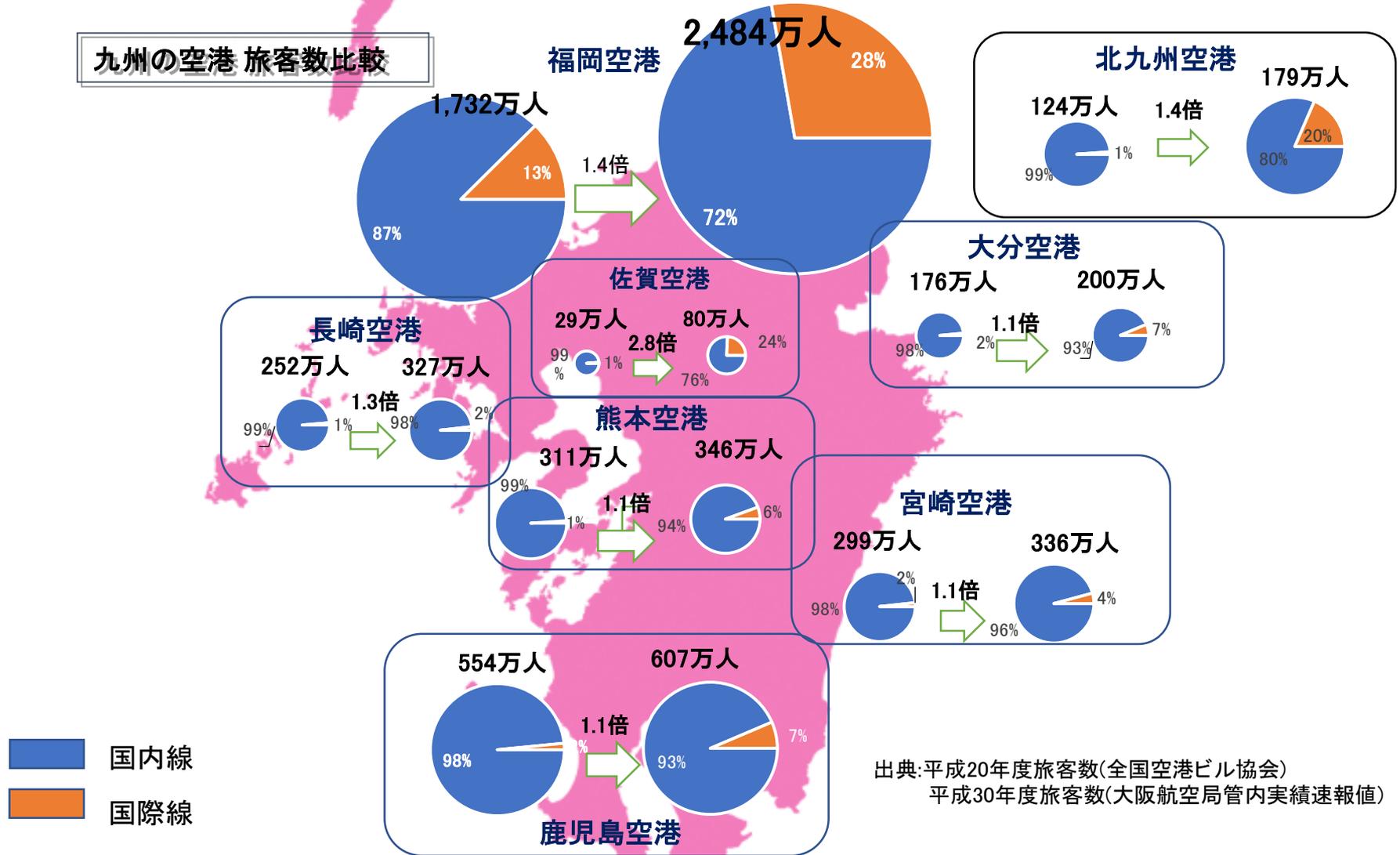


平成30年度九州主要空港の旅客数(国内・国際)



# 九州内空港(平成20年度⇒30年度比較)

## 九州の空港 旅客数比較



出典:平成20年度旅客数(全国空港ビル協会)  
 平成30年度旅客数(大阪航空局管内実績速報値)

# 当社が考える空港の将来像

北九州市を中心に、大分県、山口県等近隣県を含めたビジネス、国際観光需要をコア需要として展開していく。また、福岡空港との相互補完連携により、北部九州の航空需要を支えていく。

○北九州空港から山口県へ

- ・温泉地の知名度
- ・萩の歴史や秋吉台カルスト台地の知名度
- ・角島大橋や元乃隅稻荷神社ルートが人気
- ・唐戸市場の食体験

日本語 | English | 한국어 | 简体中文 | 繁體中文



○北九州空港から大分県へ

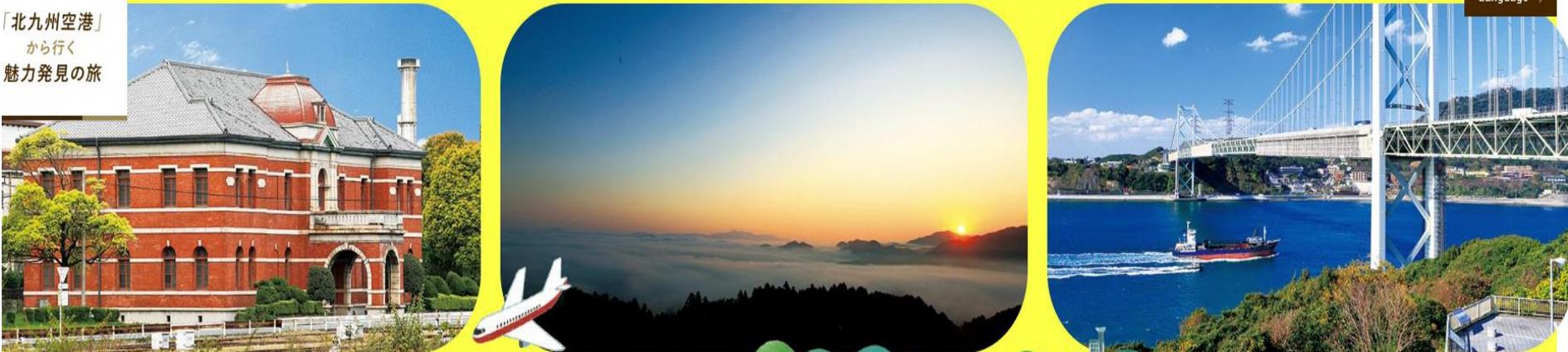
- ・温泉地の知名度
- ・ラグビーワールドカップ
- ・大学APUの存在
- ・インターコンチネンタルホテル立地
- ⇒特に、欧米系インバウンドに期待(北九州空港経由)

アクセス

# 当社HP魅力コース紹介事例(利用促進連絡会)

Language >

「北九州空港」  
から行く  
魅力発見の旅



空港到着から手軽に周遊できる  
観光スポットへ出発しよう!



旅の出発は北九州空港 / おすすめ9コース / おすすめスポット

## おすすめスポット



# 当社HPにおいて当社社員の体験記紹介

2019/08/07 10:49

北九州空港職員が行く！旅行体験記（大分編を追加しました）

## クイックメニュー

- |         |      |
|---------|------|
| 今月の時刻表  | バス   |
| 飲食店     | 車    |
| ショッピング  | タクシー |
| グロアーマップ | 電車   |

## 新着情報

- ★ 2019/07/30 [大連路線旅行商品はコチラ](#)
- ★ 2019/07/30 [海外へ渡航される皆様へ](#)
- ★ 2019/07/19 [コンゴ民主共和国及びウガンダ共和国へ渡航される方へ](#)
- ★ 2019/07/02 [北九州市観光地スタンプラリー](#)
- ★ 2019/07/02 [海外へ渡航される皆様へ](#)
- ★ 2019/07/01 [北九州エアターミナル株式会社創立30周年感謝企画](#)
- ★ 2019/06/21 [北九州空港 パスポート取得応援キャンペーンを実施します！](#)

[☰ バックナンバーはこちら](#)

## イベント情報

- [到津の森公園 動物写真パネル展](#)
- [田川市美術館「ゆめの国たま](#)

別府⇄北九州バス体験記



[クリックして詳細を見る](#)

山口ぐるっと周遊記  
2018年12月10日～11日



[クリックして詳細を見る](#)

新幹線で行く山口・広島体験記



[クリックして詳細を見る](#)

レンタカーで巡る大分旅



[クリックして詳細を見る](#)

大分県南ドライブと秘湯めぐり



[クリックして詳細を見る](#)

# ビル会社から見た空港運営の民間委託化 (高松空港、熊本空港の提案内容例)

# アジア・世界とつながる四国瀬戸内No.1の国際空港

複数のLCCの拠点化を進め、旅客数307万人を達成



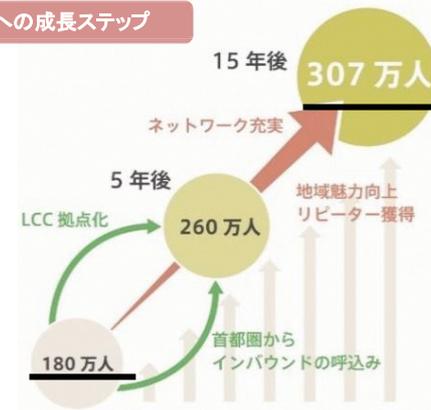
旅客数 307万人 (国内 225万人、国際 82万人)  
 路線数 13 路線 (国内 6 路線、国際 7 路線)  
 便数 国内 23 便/日、国際 51 便/週 貨物量 1.7万トン

- ＜将来イメージの実現に向けて＞
- 複数のLCC拠点化に向けた料金施策と受入環境整備
  - 海外や首都圏需要をターゲットとした航空需要の取り込み
  - 魅力的な商業施設づくり
  - 長期にわたる、安全・安心な空港インフラ経営
  - エリアの魅力を高める地域との協働体制

旅客数・貨物量の目標値

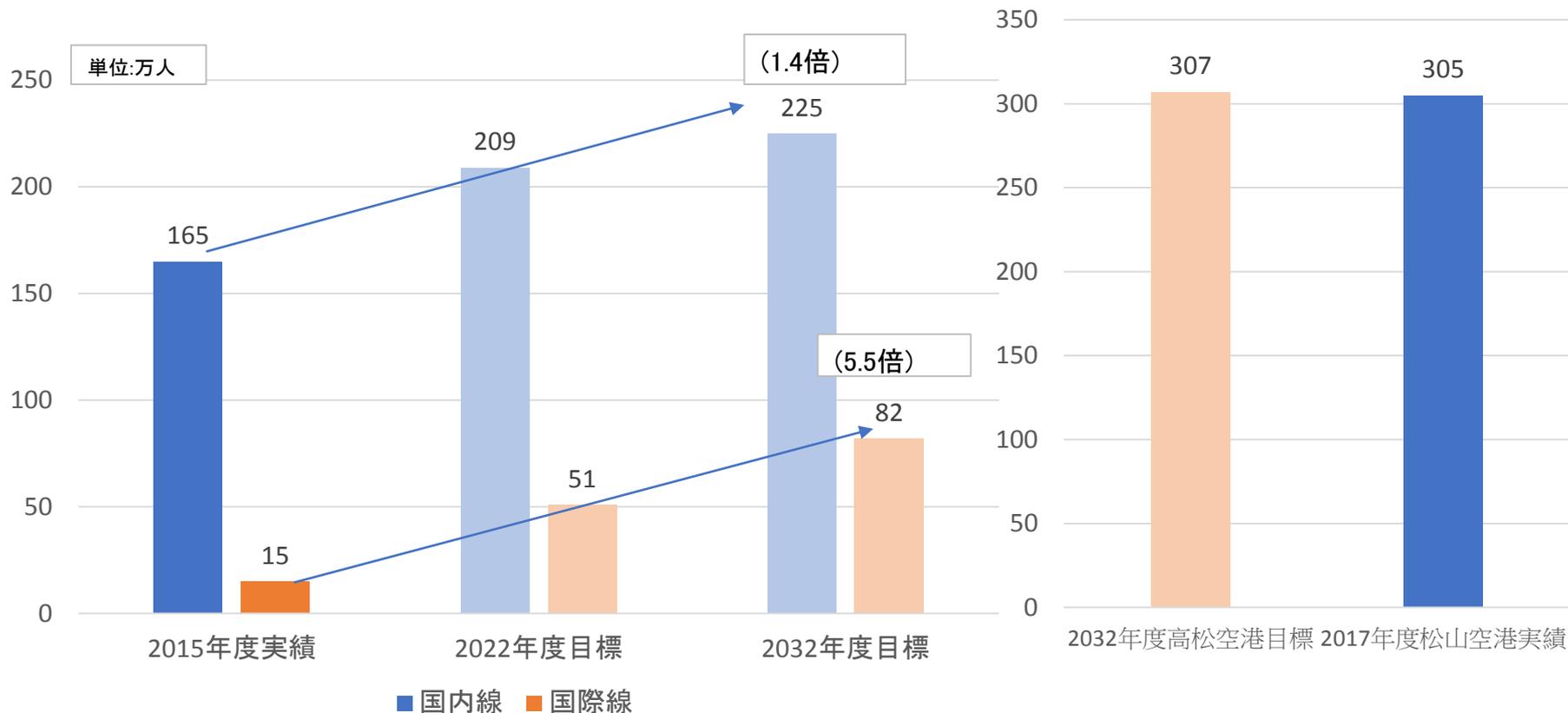
	2015年 (現在)	2022年 (5年後)	2032年 (15年後)
旅客数	180 万人	260 万人	307 万人
国内	165 万人	209 万人	225 万人
国際	15 万人	51 万人	82 万人
貨物量	0.6 万トン	1.3 万トン	1.7 万トン

307万人達成への成長ステップ



### 高松空港提案の特色

- 松山空港の旅客数を超え、四国NO.1の空港に
- 国際線の目標を15年後に実績の5.5倍に



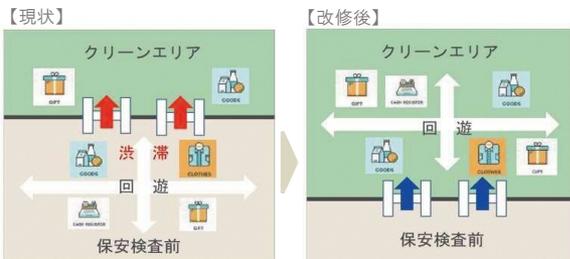
⇒旅客目標を踏まえ、新たに国際線旅客ビル施設増設、事務所棟建設等投資。  
投資額(当初5年間の旅客ビル増設等、事務所棟、駐車場立体化では約57億円)

# 空港民間委託化の例(高松空港)/提案内容

## 魅力的な商業施設づくり

### 旅客ビル施設

- 四国瀬戸内ブランドを発信する物販・飲食店舗の拡充
  - ・地元食材を使用したメニューを提供するフードコート
  - ・香川、四国、瀬戸内の名品を集めた土産店舗
- クリーンエリア内商業スペースを拡大し、搭乗時刻の直前まで楽しめる空間づくり
- 時間帯により変化する顧客ニーズに応じた商品・サービスの提供
- 免税店舗の拡張
  - ・ウォークスルー型免税店舗



フードコート(クリーンエリア内)のイメージ



商業施設の拡大

クリーンエリア内	180 m <sup>2</sup>	約 17.5 倍	<b>3.150 m<sup>2</sup></b>
免税店舗	120 m <sup>2</sup>	約 3.8 倍	<b>450 m<sup>2</sup></b>

### 屋外での賑わい創出

- イベントスペースの設置
- 空港内アクティビティ施設の設置
- 周辺公園との連携

## 利用者満足度の向上

### 分かりやすさ

- インフォメーション機能の強化(到着階)
  - ・多言語対応、チケット販売、二次交通案内等
- サインや動線の見直し

### 快適性

- スムーズな搭乗をサポートする保安検査ブースの増強
- 旅客の多彩な過ごし方を可能とするゾーニング
  - ・空港ラウンジ、ライブラリー空間の新設等
- 国内線・国際線出発ラウンジの快適性向上
  - ・家具等の入替、リニューアル等

到着階(1階)のイメージ



空港ラウンジのイメージ



# 世界と地域にひらかれた九州セントラルゲートウェイ

## 地方空港No. 1の国際線ネットワーク

交流人口の拡大による **“創造的復興”** への貢献



### 2051年度目標値

- ◆ 国際線**17**路線
- ◆ 旅客数**622**万人  
(うち国際線**175**万人)
- ◆ SKYTRAX **5**スターを取得

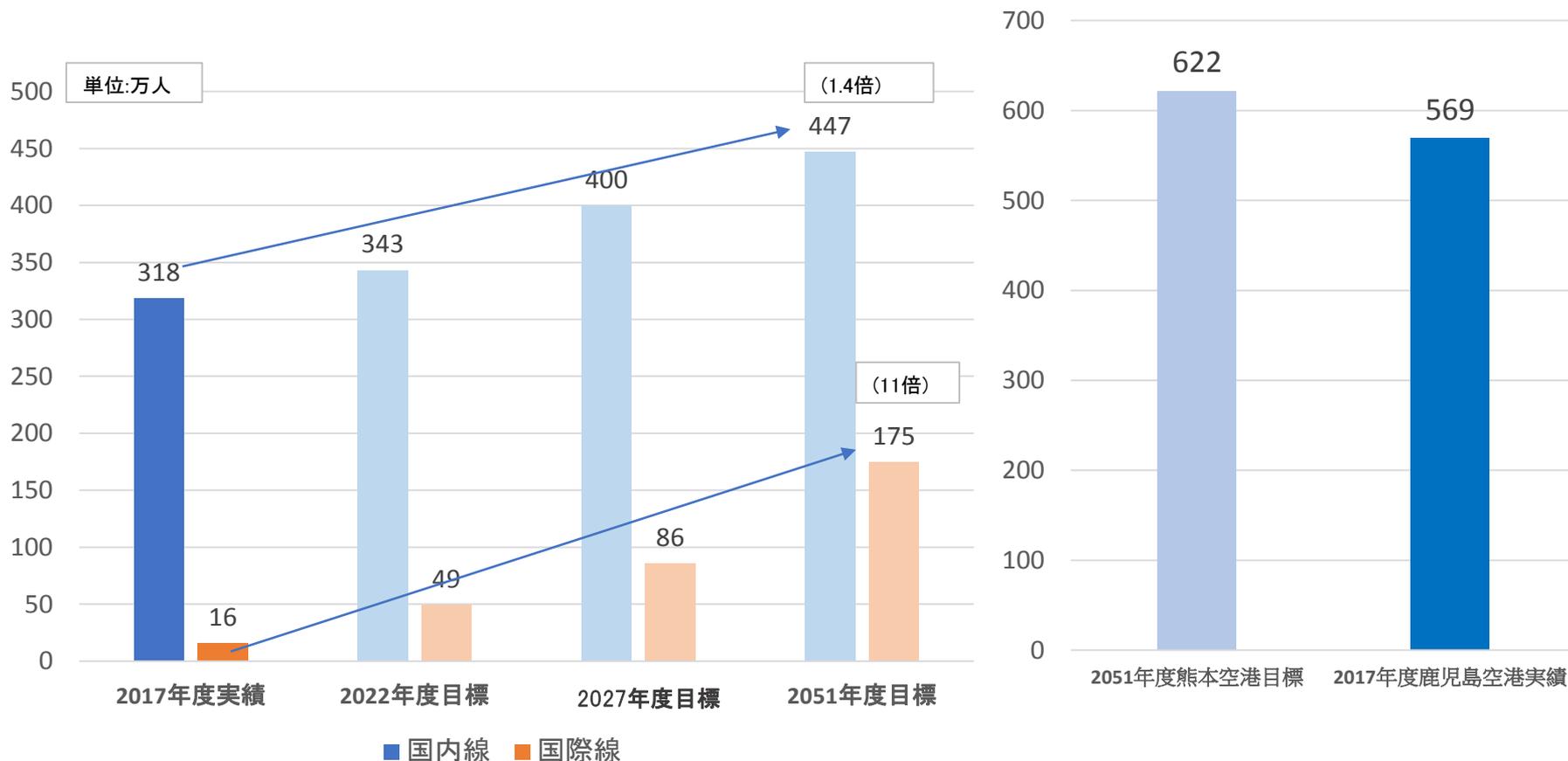
(注)地方空港には、東京国際空港(羽田)、成田国際空港、関西国際空港、福岡空港、新千歳空港、那覇空港、大阪国際空港(伊丹)、中部国際空港は含まない

### 旅客数・貨物取扱量の目標値



## 熊本空港提案の特色

- 鹿児島空港の旅客数を超え、地方空港NO.1に
- 国際線の目標を35年後に実績の11倍に



⇒旅客目標を踏まえ、新たな国内線及び国際線兼用の旅客ビル施設を整備  
投資額(現時点で未発表)

# 空港民間委託化の例(熊本空港)/提案内容より

## 国内線・国際線共用の滞在型ゲートラウンジ

- ◆ 搭乗直前まで楽しく快適な時間が過ごせるよう、ゲートラウンジ内の 店舗面積を大幅に拡張し、多様で魅力的な店舗を誘致



滞在型ゲートラウンジ

## 最先端機器を導入したチェックインロビー

- ◆ 出発エリアには自動チェックイン機器、その他スマートレーンやCT 型X線検査装置等の最先端機器を導入し、ファストラベルを推進



出発エリア

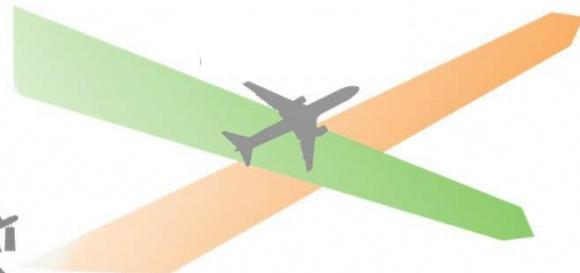
## 「食と旅」をテーマとした商業ゾーン

- ◆ 世界中から熊本を訪れた人々と地域の人々が交流する、すべての人々にひらかれた商業エリア

世界の人々



地域の人々



商業ゾーン



地域にひらかれた商業エリア

にぎわい広場



各種イベントが開催可能な広場

到着ロビー



観光客を迎え入れる到着ロビー

# 現空港ビル会社から見た民間委託化

## 現状

・空港ターミナルビルの経営のみであるため、堅実な経営が可能

・地元行政や経済界等との連携や、より一層ニーズを踏まえた経営が可能

・現状では旅客需要が確実で、長期で航空会社からの収入の見込みがなければ、増設等の投資は難しい



## 民間委託化

・公募で競争があるために、旅客目標は大きく、旅客目標に併せた先行投資(旅客・貨物・駐車場)を行われ、空港の魅力がアップ

・空港コンセッション参画希望企業は、自社の空港運営が実現すれば、次の空港の提案(特に小規模空港)には興味が薄れる可能性

・先行投資を回収するための収益の確保(商業施設の充実等)が重要であるが、安定経営が可能か

・地元の空港として、地元へ収益を還元し、活性化に寄与してもらえるか

・ビル社員の人財育成と雇用確保に貢献してもらえるか

## 24時間空港の役割拡大、滑走路3000m延伸実現

- 福岡空港で溢れる(もしくは運用時間外の)需要(旅客、貨物)を北九州空港で受け止める。
- 福岡都市圏や小倉都心部等とのアクセス等利便性を高める。
- 空港滑走路の3000mへの延伸等、空港の機能を強化する。

## 旅客需要(国内・国際)の拡大

- インバウンドの促進に向けた情報発信や広域観光ルートを確立。
- 地方創生のためにもFDA等の国内地方間の路線の誘致や利用促進が必要。

## 空港島の活用の夢を広げる

- 空港島の将来的に活用可能な用地(100ha以上)を活かす(航空系、非航空系)

## 空港の魅力づくりなど

- 手狭になった空港ビルの機能(特に国際線、貨物ビル)を強化し、飲食・物販、休憩スペース等の魅力づくりが必要。
- 空港関連事業者の深刻な人手不足について対策が必要。
- 空港について、位置が分かりにくいとの海外空港関係者の声。地理的な位置を含めた空港の知名度アップが必要。